

(公財)日教弘 教育実践研究助成事業
日教弘岩手支部 教育実践研究論文 募集要項

岩手県内の教育関係者が創意工夫をしながら行っている優れた教育実践の成果の発表の場として、標記教育実践研究論文を募集します。

1 主催 公益財団法人日本教育公務員弘済会岩手支部

2 後援 岩手県教育委員会

3 助成要件

(1) 募集要件

① 未発表の論文であること

ア 当会以外の団体・機関の論文募集等に応募したもの、又は市販の図書・教育誌等にすでに発表したものは対象外となります。

※内容が類似したものであれば、論文の様式でないもの(申請書・レポート等)であっても入賞の有無を問わず応募済みのものと見做します。

※過年度に類似した主題等で他団体に応募したり、発表したりしているものでも、新たな内容に主軸を置いているものは、応募可とします。ただし、内容に差異がないもの、新たな内容を追加しただけのもの等は対象外とします。(必要に応じて、過去の書類を提出いただき、選考委員会で確認をさせていただきます)

イ (他の応募はしていないが)公的機関(市町村研究所、県立総合教育センター等)や学校公開研究会などで発表した内容は応募可としますが、発表履歴については申告いただき、必要に応じて確認させていただきます。

② 全国又は岩手支部において、過去2年以内(令和5～6年度)の入賞校、入賞者(学校・個人部門)でないこと

(2) 募集対象

① 学校部門

岩手県内の国・公・私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等並びに、そこに現在、勤務する教育関係者で組織する教育研究団体

※ 学校部門は校長が応募者となります。

※ 他の教育機関等から学校部門として応募する場合は、機関の所属長が応募者となります。

② 個人部門

上記の学校や教育機関等に勤務する教育関係者個人、又は研究グループ等

※ 教育関係者とは各都道府県市(特別区を含む)町村等に設置された国・公・私立の学校、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者とします。

(3) 募集期間

令和7年4月1日～令和7年7月31日(必着)

※3月迄に脱稿している場合でも4月1日からの応募とするようお願いします。

(4) スケジュール

令和6年10月～ R7募集要項をホームページに掲載するとともに、学校訪問時等に配布予定

令和7年4月～7月 応募期間

令和7年8月 選考委員会

令和7年9月 入賞発表及び上位入賞校・入賞者表書式 ※助成金(賞金)振込

令和7年10月 全国推薦

(5) 応募方法

・HPに掲載している様式(下記設定)によりWordで作成のうえ、メール添付にて提出してください。(可能であればPDF版も併せて添付し提出)

＜本文(論文) 24字×43行×2段組×A4判 横書き(3～4ページ)

※様式例は、日教弘岩手支部のホームページからダウンロードできます。

※詳細は「教育実践論文の応募にあたっての留意事項」「別紙様式例」をご参照ください。

(6) 論文応募先

公益財団法人日本教育公務員弘済会岩手支部事務局 E-mail nk-iwate@hyper.ocn.ne.jp

(7) 応募期限

令和7年7月31日(水)までに必着

＜個人情報の取扱いについて＞

個人情報は、本事業に関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

4 入賞・表彰・助成等

○最優秀賞＜学校・個人各1編以内＞… 学校5万円 個人3万円

○優秀賞 ＜学校・個人各2編以内＞… 学校4万円 個人2万円

○優良賞 ＜学校・個人各8編以内＞… 学校3万円 個人1万円

○奨励賞 ＜上記以外から数編＞ … 学校図書カード5千円分 個人図書カード3千円分

※ 応募要件を満たしていない場合、受賞の対象外となります。(受賞後でも賞の取消及び賞金＜助成金＞の返金を求めることがあります)

5 選考

(1) 選考方法

教育振興事業選考委員会で選考を経て、部門ごとに各賞を決定します。

なお、受賞の理由等、選考に関わる問い合わせには回答しません。

(2) 選考基準

- ① 教育課題を適切に取り上げているか。
- ② 教育課程上に適切に位置づけられ、授業の改善に資するものとなっているか。
- ③ 子どもの主体的な変容・発達の姿が見られるか。
- ④ 理論と実践が一体となった研究であるか。
- ⑤ 研究内容は価値が高く、他の学校でも活用できるか。

6 留意事項

- (1) 応募された原稿の著作権は当会に所属します。
- (2) 他の論文等にある図表、写真や長い文章を引用する際には、著作権所持者・団体の引用許可を応募者が取ってください。
- (3) 児童・生徒・保護者等の写真を論文に掲載する場合は、必ず事前に許可を取ってください。

7 日教弘教育賞への推薦

上記4の最優秀賞・優秀賞の中から、日教弘教育賞応募要件(過去5年以内＜令和2～6年度＞に全国入賞学校・個人は対象外等)に叶った3編以内を全国推薦します。

推薦2編の場合(学校部門1＋個人部門1)

推薦3編の場合(学校部門2＋個人部門1 若しくは学校部門1＋個人部門2)

※推薦された該当校(者)は、本文以外に要旨、調査票を作成し、提出していただきます。

※日教弘教育賞研究集録を刊行し、全国の最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当論文については全文を掲載して教育の振興に役立てます。奨励賞該当論文については「論文の研究主題・応募者の氏名・勤務校」を掲載するとともに、希望者に論文を公開します。また、これらはホームページにも掲載します。

8 問い合わせ先

公益財団法人日本教育公務員弘済会岩手支部

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3-3-1

TEL: 019-624-1508(平日9:00～16:45) FAX: 019-623-2257

E-mail: nk-iwate@hyper.ocn.ne.jp

ホームページ: <https://iwate-nikkyoko.sakura.ne.jp/>

教育実践研究論文の応募にあたっての留意事項

1 研究主題

応募者が具体的な研究主題を決めて論文をまとめることとします。

2 用紙及び論文量

- ・論文の作成は原則としてWord等を使用してください。
- ・指定の原稿用紙はありませんので、下記のとおり設定の上論文等を提出してください。

<論文>

様式 24 字×43 行×2 段組×A 4 判 横書き（見出しを除き MS 明朝体 フォントサイズ 10.5）
3 ページ以上～4 ページ以内

《応募者記載欄》

- ・1 ページ目 1～6 行目（段組み左右・2 段分）に記入する。
- ※ 1 ページ目の行数が様式に沿う（本文と併せて 43 行）場合のみ、フォントサイズの変更可能（フォントサイズ 10.5～12 程度）
- ・記載事項は研究主題、副題、応募者の所属学校、役職、氏名（学校部門は校長名）とする。

《本文》

- ・2 段組で記入する。
- ・1 ページ目 7 行目（左段）～4 ページ目 43 行目（右段）の中に本文及び図表・写真等の資料を収める。
- ※ フォントの大きさを上記以外にすると、設定が正しくても、字数・行数が様式と異なって表示されることがあります。（特に応募者記載欄）
印字した際の字数・行数の様式が正しい場合に限り、フォントの大きさが上記と異なっても不問といたします。
- ※ 上記と異なる様式・不備がある状態で応募した場合、選考の対象外となることがあります。
ホームページで様式例を確認してください。

※HP 記載様式例参照

3 論文の書き方

- ① 論文は横書きとします。
- ② 漢字は常用漢字を使用してください。
※ 学校部門は校長が応募者となりますが、他に校長以外の担当者（執筆責任者・執筆担当者 等）がいる場合は、論文の文末に記載することができます。（例 執筆責任者 教諭 ○○ ○○）
- ③ 小見出しや文章の書き出しの前は、1 マスあけてください。

4 図表・写真等の資料の留意事項

- ① 掲載する図表・写真等の資料は、「教育研究集録」作成時に見にくくならないよう配慮してください。
- ② 全文中において、図表・写真の分量はA 4 判 1 ページ程度以内の分量に収め、本文の中に貼り付けまたはデジカメ等で取り込んだものにしてください。あくまで補足資料であるため、論文の内容は本文に記入してください。

5 論文提出方法

メールに作成したWord版とPDF版を添付し、公益財団法人日本教育公務員弘済会岩手支部あてに送付してください。（PDF版を作成できない場合は、事務局へご相談願います。）